

はじめに



山武市長 榎名千収

私たちは未来の社会を予測出来ないのでしょうか。

10年前既に、「インターネット社会になる、グローバル化が進む、格差社会になる」と言われていました。未来情報は沢山ありました。

そして今、総てがその通りになりました。その通りになり過ぎました。私たちは何処かで対応を間違えたに違いありません。そうでなければ国も地域もこのような閉塞感にさいなまれなかったと思うのです。

間違いは変化の速さを予想できなかったから、いやそうではありません、分かっているながら変化に対応できなかったからなのです。

世界人口の増加により食料は不足し、穀物市場の高騰がおこる。途上国の経済発展に伴うエネルギー価格が上昇する。市場経済は金融中心になり格差はあらゆる局面で広がる。環境汚染は広がり、温暖化は進む。自然現象は荒々しくなる。日本の人口は減少し、産業の国際競争力が低下する。地域経済は疲弊する。

このような未来への悲観的な見方は既に現実のものとなっています。否定できない潮流となったこれらの変化に前向きに対応し、課題を克服しなければ日本社会の明日はありません。

第二次地方分権において地方の役割はいっそう増して、地方が主役の国づくりが始まります。地方が主役の国づくりは市民が主役のまちづくりでもあります。まちづくりの主人公の市民もまた独立した成熟市民を目指します。

計画は出来上がった時がスタートです。市民、議会、行政が渾然一体となって、明日の郷土の建設に力を合わせ、気持ちを合わせ、志を合わせる時がまいりました。

この計画は、本市の最上位計画です。「自ら考え自ら決めて積極的に行動し、その結果を自らの責任として受け入れる。」このようにして独立した地方を目指します。

おわりに、本計画の策定にあたり、活発なご審議、ご意見・ご提案をいただきました総合計画審議会、市議会、地域審議会をはじめ多くの市民のみなさまに心から御礼申し上げます。

平成20年3月

総合計画策定の趣旨

山武市は、加速する少子高齢化、逼迫した財政状況、多様化する市民ニーズへの対応など様々な課題から、地方自治体としての生き残りをかけ、平成18年3月27日に蓮沼村、松尾町、山武町及び成東町の4町村が合併して誕生しました。

今後の行政運営には、行政と議会・市民・地域団体・企業・NPOなど多様な主体が、それぞれ果たすべき責任と役割を自覚しながら、一体となって考え、行動することで、地域の課題を解決する『協治』によるまちづくりが必要となります。

誰もがしがわを実感できる山武市の実現のため、『市民と行政が一緒になって山武市を創る協治のみちすじとしての総合計画』を策定するものです。

計画の構成と期間

総合計画は、本市におけるまちづくりの最上位に位置づけられる計画であり、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成します。



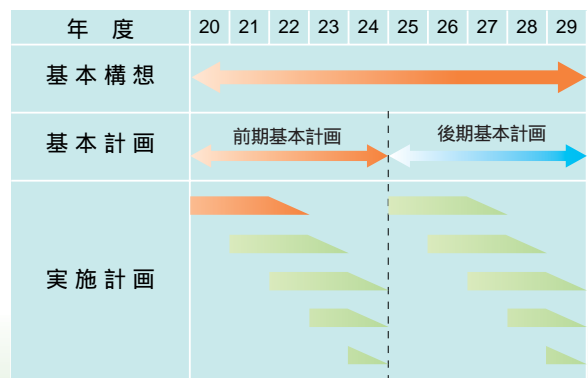
「基本構想」は、まちづくりの基本理念と将来都市像を示すとともに、その実現に向けた基本政策（政策の大綱）などを明らかにする長期計画です。

「基本計画」は、5年間で取り組むべき具体的施策を定めた中期計画です。

今回は前期5か年の基本計画を策定します。

「実施計画」は、基本計画に示された具体的施策を効果的に実施するために、毎年度の事業計画、予算編成等の指針となる短期計画です。

実施計画は、3か年のローリング方式とし、毎年度進捗状況を把握し、また成果の評価を実施し計画の見直しを行います。



は今回策定の計画を示します。

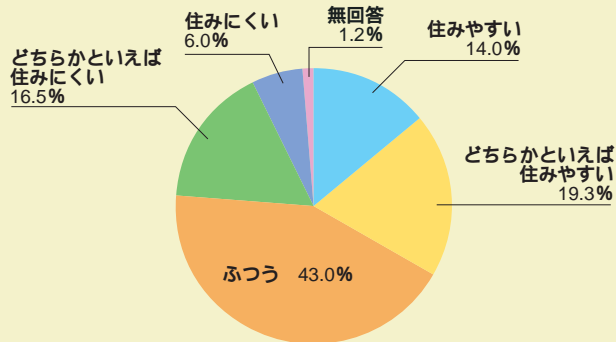
市民の皆さんの声



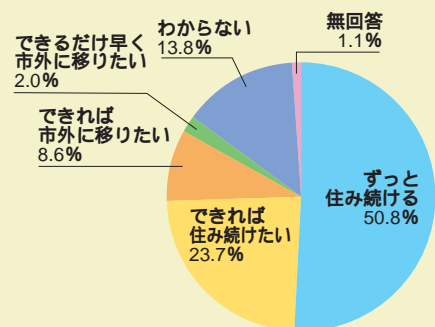
市民の皆さんが抱えているまちづくりへの意向を把握し、その意見を反映したまちづくりを行うため、平成19年8月に「山武市総合計画に係るアンケート」を実施しました。

住みやすさ、定住志向

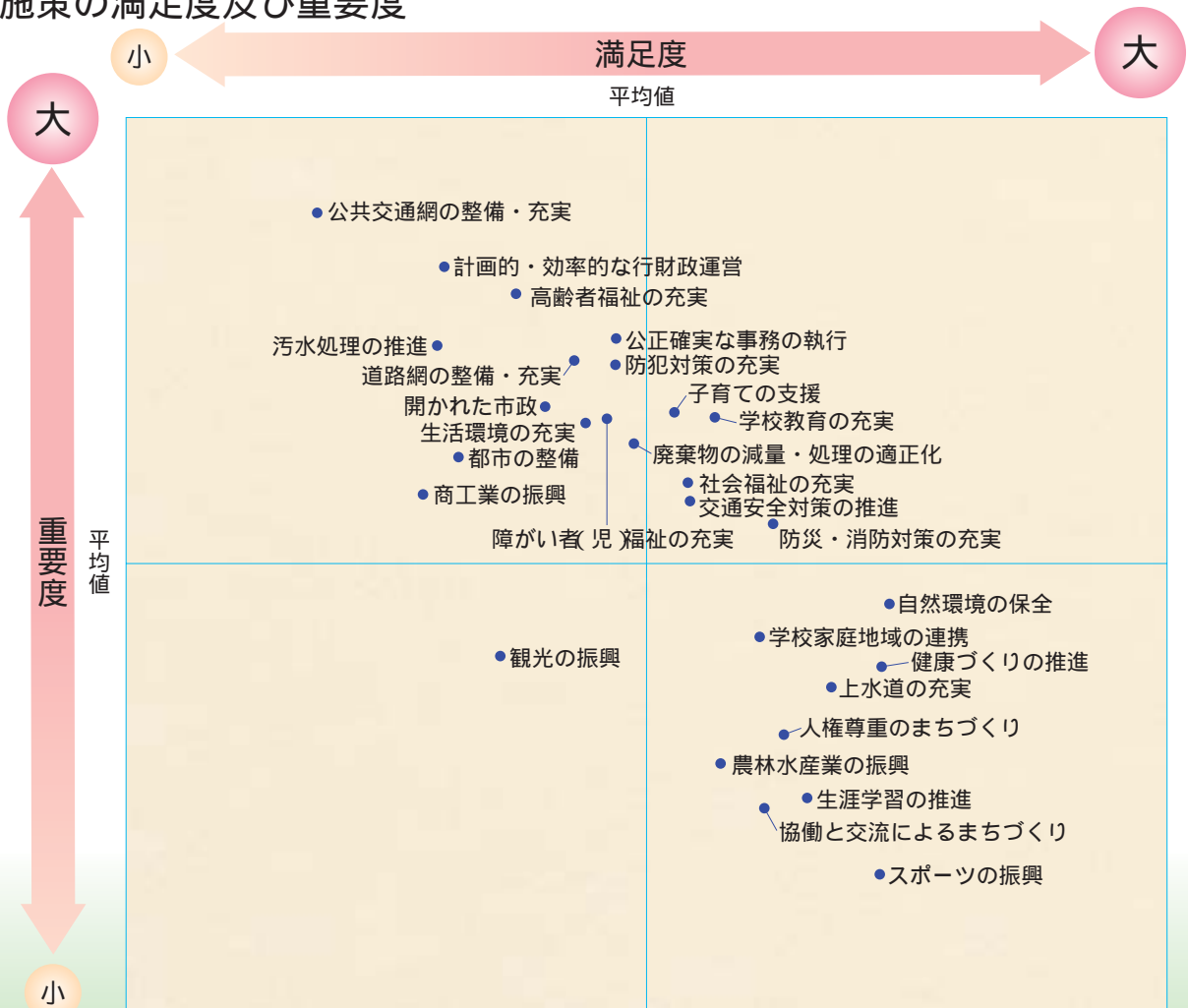
山武市を住みよいまちだと思いますか？



あなたはこれからも山武市に住み続ける予定ですか？



施策の満足度及び重要度



基本理念と将来都市像



基本理念

「ともに手を携えて誇りを持てるまちづくり」

まちづくりの主人公である市民、そして行政がともに手を取り合って協力し、山武市に暮らす市民一人ひとりが誇りを持てるまちをつくりましょう。



将来都市像

誰もが しあわせ を実感できる独立都市 さんむ

未来の山武市のために今できること、
しなければならないこと

政策 1 暮らしを支える快適なまちづくり [都市基盤の整備]

政策 2 住みやすい環境と安全なまちづくり [暮らしやすい環境の整備]

政策 3 にぎわい豊かな暮らしを
創出するまちづくり [産業経済の振興]

政策 4 だれもが生きがいを持って
安心して暮らせるまちづくり [保健・福祉・医療の充実]

政策 5 生涯を通じて人と人とのふれあい
共に学びあえるまちづくり [教育・文化の振興]

政策 6 市民と行政が
協働してつくるまちづくり [コミュニティ推進と行財政の効率化]

本市の将来人口



人口・世帯数

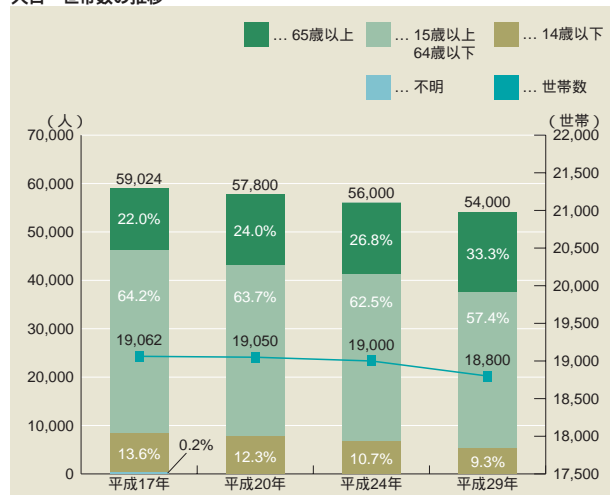
本市の将来人口は、前期基本計画の目標年度である平成24年度（2012年度）56,000人、最終目標年度の平成29年度（2017年度）には、54,000人と想定します。

年齢3区分別人口では、65歳以上人口比率が平成17年には22.0%でしたが、平成29年度には、33.3%と想定し、急激な高齢化が進むものと予想されます。

14歳以下の年少人口は、平成29年度には、全体の9.3%と1割を割り込み、著しい少子化が進展するものと予想されます。

また、将来の世帯数については、平成24年度には19,000世帯、平成29年度には18,800世帯と想定します。

人口・世帯数の推移

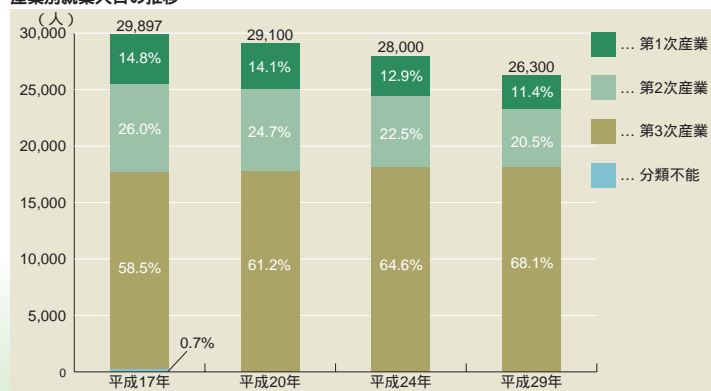


本市の就業人口

本市の就業人口は、人口の減少とともに少子高齢化が進展し、減少する見通しです。

産業別就業人口では、第1次産業就業人口、第2次産業就業人口が減少し、第3次産業就業人口は、全体人口が減少する中、他産業からの流入により、横ばいで推移するものと予想されます。

産業別就業人口の推移



土地利用構想



将来の都市像「誰もがしあわせを実感できる独立都市さんむ」を実現するため、本市の持つ歴史的、自然的、社会的特性をふまえ、それぞれ地域にあったまちづくりを推進します。

このため、将来の土地利用を大きく「丘陵価値創造ゾーン」「市街地ゾーン」「田園価値創造ゾーン」「海浜レクリエーションゾーン」の4ゾーンに区分し、恵まれた自然環境と調和のとれた秩序あるまちづくりに向けて、効率的な土地利用の促進に努めます。

丘陵価値創造ゾーン



丘陵価値創造ゾーンには千葉東金有料道路が横断し、その周辺には、緑豊かな丘陵地と、にんじん、さといもなどの野菜やスイカ、なしなどの果実が栽培された農地が広がっています。

この地の利を活かし、首都圏の食料基地として、安全・安心・新鮮など消費者ニーズに的確に対応した都市近郊型農業の発展に努めるとともに、観光農園や体験農業の充実を図り、都会の人々との交流による体験型農業観光の推進に努めます。

また、自然環境との調和に留意しながら、成田国際空港への交通アクセスに恵まれた好立地を活用し、工業や流通業などの拠点機能の集積や、首都圏としての定住環境機能の整備充実などを促進します。



市街地ゾーン

市街地ゾーンは、本市の中央部に位置し、国道126号が横断しJR総武本線と東金線が接続するなど交通の要所であり、また行政拠点として本市の中核を担う重要な地域です。国道周辺には、大型商業施設などの生活関連施設や市役所をはじめとする公共機関が集中し、一方ではいちごの観光農園が軒を連ねるなど、利便性が高く、賑わいを創出している地域となっています。

今後は市街の景観にも充分配慮し、国道沿線及び成東駅や松尾駅周辺などの交通アクセス拠点の環境整備に努め、計画的な市街化の誘導を図ります。



田園価値創造ゾーン

田園価値創造ゾーンには、広大で肥沃な水田が広がりを見せ、本市有数の農業生産地帯となっています。特に本市を含む周辺地域は、水稻の早場米地区として古くから知名度があり全国的にも需要があるため、地元農産物のブランド化を推進し、農地面積の集約化による農業経営の大型化や、遊休農地の活用を促進するなど、農業の振興に努めます。

また、市内の農産物直売などを通じ、地産地消を推進するためのシステムを構築します。



海浜レクリエーションゾーン

海浜レクリエーションゾーンは、太平洋に面した九十九里浜の一角を形成する成東、蓮沼海岸の白砂青松の自然環境を背景とした、海水浴客で賑わう地域となっています。成東海岸は、県下屈指の長い海岸線を誇り、白く広大な砂浜は南国風のビーチとして人気を博しています。一方、蓮沼海岸には、プールを中心とした様々なレクリエーション施設が整備され、家族連れなどが夏の彩りに一層の賑わいを創出しています。

今後は、この開かれた九十九里沿岸地域で、多彩なイベントを実施しながら、太平洋の青く明るいイメージを通して、本市の魅力为全国にアピールする観光発信地区とします。

また、自然環境に調和した景観の形成や、本市独自の物産の直売や食の魅力の創出などにより、一年を通じて楽しめる観光資源の整備発掘をし、通年型の観光地づくりに努め、来遊者の増加を図ります。



土地利用構想図



分野別計画

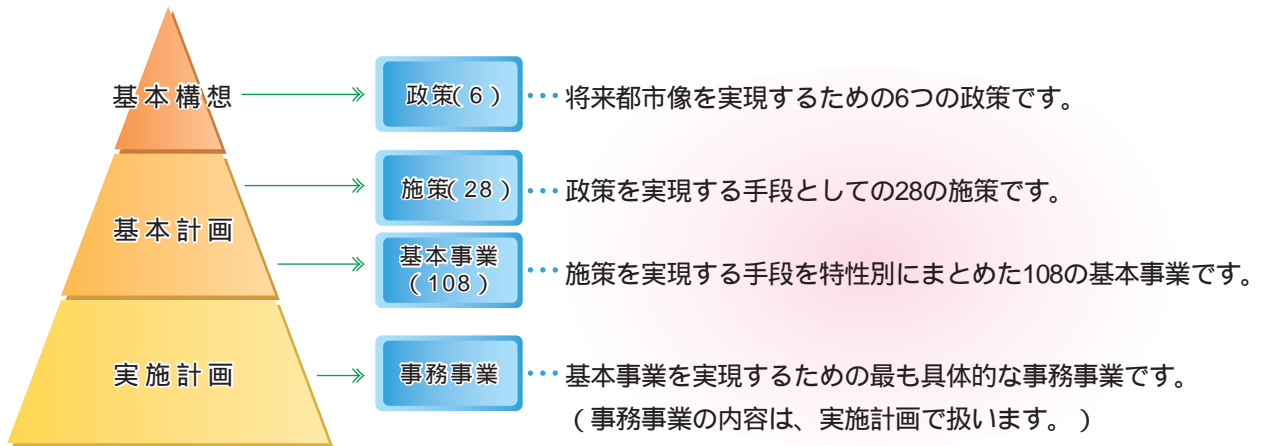


1 「行政評価」の考え方

本市は、限られた財源や人材、施設といった行財政資源の中で、解決に迫られている様々な課題を抱えています。

そこで、これらの行財政資源を有効に利用するとともに、市民にわかりやすい行財政運営を行うためのひとつの方策として「行政評価」の考え方を導入します。この考え方により、「施策」「基本事業」などの目標の達成度を数値で表し、市民起点、成果重視といった視点から市政を推進します。

体系・・・分野別計画では、総合計画を次のように体系化しています。



2 計画の体系図

政策 1 暮らしを支える 快適なまちづくり [都市基盤の整備]

- 1-1 道路網の整備・充実 1-2 公共交通網の整備・充実
- 1-3 防災・消防対策の充実 1-4 都市の整備

政策 2 住みやすい環境と 安全なまちづくり [暮らしやすい環境の整備]

- 2-1 生活環境の充実 2-2 廃棄物の減量・処理の適正化
- 2-3 自然環境の保全 2-4 上水道の充実 2-5 汚水処理の推進
- 2-6 防犯対策の充実 2-7 交通安全対策の推進

政策 3 にぎわい豊かな暮らしを 創出するまちづくり [産業経済の振興]

- 3-1 農林水産業の振興 3-2 商工業の振興
- 3-3 観光の振興

政策 4 だれもが生きがいを持って安心して 暮らせるまちづくり [保健・福祉・医療の充実]

- 4-1 高齢者福祉の充実 4-2 障がい者(児)福祉の充実
- 4-3 健康づくりの推進 4-4 子育ての支援
- 4-5 社会福祉の充実

政策 5 生涯を通じて人と人がふれあい 共に学びあえるまちづくり [教育・文化の振興]

- 5-1 学校教育の充実 5-2 生涯学習の推進
- 5-3 スポーツの振興 5-4 学校家庭地域の連携
- 5-5 人権尊重のまちづくり

政策 6 市民と行政が協働してつくる まちづくり [コミュニティ推進と行財政の効率化]

- 6-1 協働と交流によるまちづくり 6-2 開かれた市政
- 6-3 計画的・効率的な行財政運営 6-4 公正確実な事務の執行

将来都市像を実現するための6つの政策

政策 1 暮らしを支える快適なまちづくり [都市基盤の整備]

本市の顔とも言える駅周辺の利便性を向上させるための整備や潤いのある市街地整備を進め、生活重視のまちづくりに取り組みます。

防災・消防対策では、防災体制の整備を図り、地域防災能力を強化・向上させます。

また、災害に対しては迅速かつ確かな初動体制が重要であることから、地域防災計画を有効に機能させ、被害を最小限に抑えます。

施策 1 - ①

道路網の整備・充実

施策のねらい

道路が整備され、日常生活の安全性・利便性が向上します。

施策の成果指標

市道整備状況の満足度

基準年度現状値	平成24年度目標値
62.1%	→

市民の市道整備状況に対する満足度を見る指標です。市民アンケートで、幹線道路及び生活道路の整備状況について「満足」「どちらかといえば満足」「ふつう」と回答した市民の割合の平均です。

施策 1 - ②

公共交通網の整備・充実

施策のねらい

公共交通網が充実し、利便性が高まります。

施策の成果指標

公共交通網の満足度

基準年度現状値	平成24年度目標値
31.9%	➔

市民の公共交通網に対する満足度を見る指標です。市民アンケートで、市内外への公共交通機関（バス・電車）での移動について「満足」「やや満足」「ふつう」と回答した市民の割合です。

施策 1 - ③

防災・消防対策の充実

施策のねらい

市民の防災意識が高まり、地域の防災力が向上し、災害の被害が抑えられます。

施策の成果指標

災害の面で安全に暮らせると
思う市民の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
65.8%	→

市民の災害に対する安心度を見る指標です。市民アンケートで、自分が住んでいる地域について「安心」「ほぼ安心」と回答した市民の割合です。

施策 1 - ④

都市の整備

施策のねらい

地域性を活かした機能的な土地利用がされ、利便性が向上します。

施策の成果指標

市街地の利便性に対する満足度

基準年度現状値	平成24年度目標値
38.4%	→

市民の市街地の利便性に対する満足度を見る指標です。市民アンケートで、市内にある市街地の利便性について「満足」「どちらかといえば満足」「ふつう」と回答した市民の割合です。

目標値：目標値は平成19年度に設定しました。指標の種類は、次の3つのパターンがあります。方向性を矢印で示すパターン（アンケートで数値を取得するもの）

[➔]・・・数値の増加を目指すもの

[→]・・・数値の維持を目指すもの

[➡]・・・数値の減少を目指すもの

数値で示すパターン（市役所の業務データから数値を取得するもの）

推移を見るパターン

[-]で表します。



政策

2

住みやすい環境と安全なまちづくり [暮らしやすい環境の整備]

恵まれた自然環境と地下水を保全するため不法投棄の防止などに努め、すべての市民が快適で衛生的な生活を営むことができるよう、生活衛生環境を充実させます。

さらに、市民、行政、事業所が一体となり、ごみの減量や排出抑制に取り組むことにより、自然環境への負荷が少ないまちにします。

成田国際空港と周辺地域の更なる発展を期するため、空港との新たな共生・共栄の実現を目指します。

また、防犯対策については、住民、自治会等、事業者の防犯意識を高め、自主的な防犯活動を推進し、安心して暮らすことができるまちづくりを進めます。

交通安全対策については、市民、警察及び交通安全協会などと連携を図り、飲酒運転の撲滅や交通弱者（高齢者や子ども）が交通事故に遭わない環境整備に努め、安全で快適な生活空間づくりを進めます。

施策 2 - ①

生活環境の充実

施策のねらい

市民が快適に暮らせる生活環境を確保します。

施策の成果指標

快適な生活環境が整っていると思う市民の割合

基準年度現況値	平成24年度目標値
40.1%	→

生活環境が快適であるかを見る指標です。市民アンケートで、快適な生活環境が整っていると「思う」「やや思う」と回答した市民の割合です。

生活環境に関する苦情件数

基準年度現況値	平成24年度目標値
-	580件

市民からの生活環境に関する苦情件数です。

目標値は、平成24年度1年間の苦情見込件数であり、平成19年度8か月の苦情件数から推計しました。

航空機騒音を不快に感じる市民の割合

基準年度現況値	平成24年度目標値
96.1%	→

航空機騒音への不快感を見る指標です。第1種区域の世帯を対象にしたアンケートで、航空機騒音を「非常にうるさい」「うるさい」「時々うるさい」と回答した市民の割合です。

この目標値表示は、「航空機騒音を不快に感じる市民の割合」を少なくすることを示しています。

施策 2 - ⑤

汚水処理の推進

施策のねらい

公共用水域の汚濁を改善させ、生活環境の向上を図ります。

市内全世帯のうち、農業集落排水加入世帯及び合併処理浄化槽設置世帯の割合です。

施策 2 - ②

廃棄物の減量・処理の適正化

施策のねらい

ごみ排出量が減り、適正に処理されます。

施策の成果指標

1人1日当たりのごみ排出量

基準年度現況値	平成24年度目標値
681g	621g

市民1人が1日にどれだけのごみを出しているかを見る指標です。2つの組合の年間ごみ収集量を基に算出します。

再資源化率

基準年度現況値	平成24年度目標値
18.1%	21.5%

廃棄物の再資源化率を見る指標です。廃棄物の総排出量のうち、リサイクル化などにより、再資源化を図った総量の1年間の割合です。

施策の成果指標

BOD濃度 作田川（中流域）

基準年度現況値	平成24年度目標値
1.8mg/l	1.8mg/l

作田川の汚れを見る指標です。この数値が大きくなると水質が悪くなります。

BOD濃度 木戸川（下流域）

基準年度現況値	平成24年度目標値
2.5mg/l	2.0mg/l

木戸川の汚れを見る指標です。この数値が大きくなると水質が悪くなります。

汚水処理世帯の普及率

基準年度現況値	平成24年度目標値
35.0%	40.0%

施策 2 - ③

自然環境の保全

施策のねらい

市民や企業による自然環境保護の取組みや地球に負荷を与えない行動が定着化し、市の豊かな自然環境を保全します。

施策の成果指標

自然環境の満足度

基準年度現況値	平成24年度目標値
76.3%	→

市民の自然環境に対する満足度を見る指標です。市民アンケートで、自然環境について「満足している」「やや満足している」「ふつう」と回答した市民の割合です。

施策 2 - ⑥

防犯対策の充実

施策のねらい

犯罪がおきにくく、安全なまちになっています。

施策の成果指標

人口1,000人当たりの刑法犯認知件数

基準年度現況値	平成24年度目標値
17件	17件

1年間に市内で発生した刑法犯認知件数を人口1,000人当たり置き換えて算出した件数です。

安全で安心して住めると思う市民の割合

基準年度現況値	平成24年度目標値
68.6%	→

市民の防犯意識について見る指標です。市民アンケートで、安全で安心して暮らせるまちだと思うかについて「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「ふつう」と回答した市民の割合です。

施策 2 - ④

上水道の充実

施策のねらい

市民が安全で安定した水道水を使うことができます。

施策の成果指標

給水戸数【市営水道】

基準年度現況値	平成24年度目標値
2,051戸	2,800戸

市営水道の給水区域内の水道使用者の増減を見る指標です。

給水戸数【広域水道】

基準年度現況値	平成24年度目標値
10,599戸	10,800戸

広域水道の給水区域内の水道使用者の増減を見る指標です。

施策 2 - ⑦

交通安全対策の推進

施策のねらい

交通事故が少なくなり、死傷者数が減少します。

施策の成果指標

人口1,000人当たりの交通事故発生件数

基準年度現況値	平成24年度目標値
5.3件	5.0件

1年間に市内で発生した交通事故件数を人口1,000人当たり置き換えて算出した件数です。

人口1,000人当たりの交通事故死傷者数

基準年度現況値	平成24年度目標値
6.8人	5.0人

1年間に市内で発生した交通事故による死傷者数を人口1,000人当たり置き換えて算出した人数です。

にぎわい豊かな暮らしを 創出するまちづくり [産業経済の振興]

農林水産業は、意欲ある担い手の育成や生産基盤の強化、森林整備等自然環境との共生を図った事業を展開します。

商業は競争力ある質の高い商業・サービス業店舗の立地を推進し、地域住民が利用しやすく、若者にも魅力ある商店街づくりを支援します。

工業では、新企業の立地促進を図り、新たな雇用を創出します。

観光業においては、夏期中心の観光から、通年型の観光地づくりを目指します。

施策 3 - ① 農林水産業の振興

施策のねらい

農業経営が安定し、農業産出額が増えます。
荒廃した森林が再生します。

施策の成果指標

農業産出額	
基準年度現状値	平成24年度目標値
174億円	174億円

市内で生産される農産物の産出額です。耕種・畜産・加工農産物の産出額の合計です。

森林整備年間実面積	
基準年度現状値	平成24年度目標値
23.3ha	24.0ha

荒れた森林を林業従事者や民間団体などが1年間に整備した面積です。

施策 3 - ② 商工業の振興

施策のねらい

商工業が発展し、地域が活性化されます。

施策の成果指標

商品販売額	
基準年度現状値	平成24年度目標値
585億円	-

市内の商店における商品の販売額です。

製造品出荷額	
基準年度現状値	平成24年度目標値
1,396億円	-

市内の工業事業所で製造した商品の出荷額です。

目標値は、社会環境の変化などによるところが大きく、行政の関与度は低いため、施策を展開するなかで成果指標の推移を見守ります。

施策 3 - ③ 観光の振興

施策のねらい

観光客が増加し、市の魅力が高まります。

施策の成果指標

観光客入込数	
基準年度現状値	平成24年度目標値
1,901,541人	2,000,000人

1年間に市内を訪れた観光客数です。

宿泊観光客数	
基準年度現状値	平成24年度目標値
77,238人	80,000人

1年間に市内に宿泊した観光客数です。



政策

4

だれもが生きがいを持って

安心して暮らせるまちづくり [保健・福祉・医療の充実]

高齢社会において市民だれもが生きがいを持って安心して暮すことが出来るように、市民の健康づくりの実践支援、疾病予防などを推進するとともに、健康増進体制の充実を図ります。

また、介護保険事業計画を円滑に実施し、高齢者保健福祉計画に基づく元気な高齢者育成に努めます。

人として、誰もが平等に生きる権利を実現するノーマライゼーション*の理念のもとに自立支援に向けた障がい福祉を充実し、健全な子どもたちの育成、また近年急速に高まっている子育て支援の需要に対応する体制構築を図ります。

地域医療については、国の医療制度改革に大きく影響するものではありませんが、市民と行政が一体となり、最大限の努力をもって、市民のための医療体制の確立に努めます。

* ノーマライゼーション

障がい者や高齢者など社会的に不利を負う人々を特別視するのではなく、一般社会の中で普通の生活が送れるような条件を整えるべきであり、共に生きる社会こそ自然であるという考え方

施策 4 - ①

高齢者福祉の充実

施策のねらい

高齢者が住みなれた地域で自立した生活が送れます。自分の健康状態（介護状態）にあったサービスが受けられ、地域生活が送れます。

施策の成果指標

健康だと思える高齢者の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
58.1%	→

高齢者の健康意識について見る指標です。市民アンケートで、自分の健康状態を「とても健康」「健康」と回答した65歳以上の市民の割合です。

65歳から74歳までの高齢者で自立している高齢者の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
96.1%	96.5%

65歳から74歳の高齢者の自立度を見る指標です。高齢者のうち、要介護・要支援認定を受けていない高齢者の割合です。

介護保険（制度）サービスの満足度

基準年度現状値	平成24年度目標値
23.8%	↗

市民の介護保険（制度）サービスに対する満足度を見る指標です。市民アンケートで、介護保険（制度）サービスに「満足」「やや満足」「ふつう」と回答した市民の割合です。

施策 4 - ②

障がい者（児）福祉の充実

施策のねらい

障がい者とその障がいの特性及び環境に応じて、地域で安心して自立し、社会参加できます。

施策の成果指標

障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
1.45%	1.50%

障がいを持つ方のうち就業している障がい者の割合です（ただし1級及び2級の重度障がい者を除いた数値です）。

在宅で生活している障がい者の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
96.3%	97.0%

障がいを持つ方のうち在宅で生活している障がい者の割合です。

施策 4 - ③

健康づくりの推進

施策のねらい

健康への意識が高まることにより、生活習慣病が減少し、健康な心身で生活を送り続けられます。

施策の成果指標

健康だと思える市民の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
78.1%	↗

市民の健康意識について見る指標です。市民アンケートで、自分の健康状態について「とても健康」「健康」と回答した市民の割合です。

生活習慣病死亡率

基準年度現状値	平成24年度目標値
58.3%	58.3%

1年間の死亡者数のうち、生活習慣病（がん・心疾患・脳血管疾患）により亡くなった方の割合です。

1人当たり医療費

基準年度現状値	平成24年度目標値
165,624円	175,000円

市民の医療費の増減を見る指標です。国民健康保険被保険者1人当たりの、1年間の平均医療費額です。

自立による生活保護廃止件数

基準年度現状値	平成24年度目標値
1件	2件

生活保護廃止世帯のうち、廃止原因が自立によるものの世帯数です。

施策 4 - ④

子育ての支援

施策のねらい

子育ての不安を軽減することにより、適切な子育てができます。

施策の成果指標

子育ての不安を持つ保護者の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
27.3%	↘

子育てに不安を持つ保護者について見る指標です。市民アンケートで、子育てに「おおいに不安がある」「やや不安がある」と回答した18歳未満の子どもを持つ保護者の割合です。

この目標値表示は、「子育ての不安を持つ保護者の割合」を少なくすることを示しています。

施策 4 - ⑤

社会福祉の充実

施策のねらい

地域で相互扶助できていると思う市民が増加します。安定した生活を送れ、経済的な自立を目指します。

施策の成果指標

地域で福祉の相互扶助ができていると思う市民の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
23.8%	↗

市民の福祉意識について見る指標です。市民アンケートで、地域でお互いに助け合いが「できている」「どちらかといえばできている」と回答した市民の割合です。

生涯を通じて人と人とがふれあい

共に学びあえるまちづくり [教育・文化の振興]

学校教育では「活きた学力」をはじめとする「生きる力」を育む教育の推進を図るとともに、一人ひとりの個性や人権を尊重した学校づくりと地域の人たちの声や想いを反映できる仕組みをつくりまします。

地域の教育では、学校・家庭・地域との相互理解や信頼関係を築くため積極的に情報を発信し、地域で子どもたちを育てていくという視点で「地域教育力」の向上に努めます。

家庭教育では、すべての教育の出発点であるという原点に立ち返り、家庭におけるしつけや基本的な生活習慣など「家庭教育力」の向上を推進します。

生涯学習では、芸術文化、スポーツなど生涯にわたって自ら学んでいける学習の機会を充実させ、健康で長生きの喜びを実感できるまちをつくりまします。

学校施設をはじめとする教育施設では、合併後大きく変わった環境の中で、適正な配置と安全・安心な施設整備を限りある予算の中で計画的に実施していきます。

また、家庭、学校、地域社会、職場など様々な機会をとらえて、人権教育、人権啓発を推進していきます。

施策 5 - ①

学校教育の充実

施策のねらい

学校生活に満足している児童生徒が増加します。

施策の成果指標

学校生活に満足している児童の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
95.9%	→

児童の学校生活に対する満足度を見る指標です。小学5年生を対象に実施するアンケートで、学校生活について「大変満足」「満足」「ふつう」と回答した児童の割合です。

学校生活に満足している生徒の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
84.5%	↗

生徒の学校生活に対する満足度を見る指標です。中学2年生を対象に実施するアンケートで、学校生活について「大変満足」「満足」「ふつう」と回答した生徒の割合です。

施策 5 - ②

生涯学習の推進

施策のねらい

生涯学習の環境が整い、学習の機会が増加することで、市民の学習への取り組みが増加し、自己実現が図られます。

施策の成果指標

生涯学習に取り組んでいる市民の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
26.8%	↗

市民の生涯学習の取り組み状況を見る指標です。市民アンケートで、生涯学習として趣味や習い事に取り組んでいると回答した市民の割合です。

施策 5 - ③

スポーツの振興

施策のねらい

継続的にスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活を営むことができます。

施策の成果指標

スポーツ活動に親しむ市民の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
23.2%	→

市民の運動実施について見る指標です。市民アンケートで、ふだん週2回30分以上の運動をしていると回答した市民の割合です。

施策 5 - ④

学校家庭地域の連携

施策のねらい

学校・家庭・地域が連携し、いきいきとした子どもを育てます。

施策の成果指標

地域において子どもが健全に育成されていると感じる市民の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
31.5%	↗

子どもが健全に育成されているかを見る指標です。市民アンケートで、地域において子どもが健全に育っていると感じると回答した市民の割合です。

学校・家庭・地域が連携していると思う市民の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
23.6%	↗

学校・家庭・地域の連携がうまく図られているかを見る指標です。市民アンケートで、学校・家庭・地域が連携していると思うと回答した市民の割合です。

施策 5 - ⑤

人権尊重のまちづくり

施策のねらい

誰でも基本的な人権が守られ、お互いの「個性」と「能力」を尊重する人権の共存社会が達成されます。男女の不公平感が解消され、女性の社会進出が図られます。

施策の成果指標

人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
45.2%	↗

市民の人権意識について見る指標です。市民アンケートで、人権が尊重されているまちだと「思う」「やや思う」と回答した市民の割合です。

あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
31.7%	↗

市民の男女共同参画意識について見る指標です。市民アンケートで、あらゆる分野で男女が対等に参画しているかについて「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合です。

政策 6 市民と行政が協働して つくるまちづくり [コミュニティ推進と行財政の効率化]

市民が主人公の誇りあるまちづくりを進めます。

そのために、自治会などの地域での主体的な活動を活性化するとともに、ボランティア・NPOなどの活動支援などを行います。

市民活動施設の整備により、さまざまな組織やグループの連携を深め、多くの市民が自主的に活動を展開し、参加できる環境を整えます。

また、自立を目指すカギは健全財政の堅持であることから、町村合併に伴う財政優遇措置の終了を見据え、健全な財政運営を推進します。

施策 6 - ①

協働と交流によるまちづくり

施策のねらい

まちづくりについて、市民と行政が共に考え、共に実践していく協働参加型の組織などが増えます。異文化交流が活発に行われ、相互理解が深まります。

施策の成果指標

市民活動（地域活動）に参加している市民の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
37.1%	→

市民の地域活動への参加状況を見る指標です。市民アンケートで、地域の活動に「積極的に参加している」「なるべく参加するようにしている」と回答した市民の割合です。

市民と行政との協働が重要だと思ふ市民の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
77.7%	→

市民の協働意識について見る指標です。市民アンケートで、市民と行政が共に力を合わせて地域づくりを行う協働について「重要であり積極的に参加したい」「重要と思う」と回答した市民の割合です。

異文化交流に関わっている市民の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
15.9%	→

市民の異文化交流について見る指標です。市民アンケートで、海外及び国内の異文化交流について「現在交流する機会がある」「過去に交流したことがある」と回答した市民の割合の平均です。

施策 6 - ②

開かれた市政

施策のねらい

市政情報が適切に市民に伝わるとともに、市民の意見が市政に取り入れられています。市政情報が公開され、個人情報も適正に保護されています。

施策の成果指標

市政情報の提供の満足度

基準年度現状値	平成24年度目標値
71.1%	↗

市民の市政情報提供に対する満足度を見る指標です。市民アンケートで、市からの情報提供について「満足」「どちらかといえば満足」「ふつう」と回答した市民の割合です。

多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合

基準年度現状値	平成24年度目標値
50.9%	↗

市民の意見が届く仕組みに対する満足度を見る指標です。市民アンケートで、市民の声が市政に取り入れられている仕組みについて「満足」「どちらかといえば満足」「ふつう」と回答した市民の割合です。

施策 6 - ③

計画的・効率的な行財政運営

施策のねらい

計画的・効率的な行財政運営が行われています。

施策の成果指標

施策目標の達成率

基準年度現状値	平成24年度目標値
-	70.0%

総合計画で目標が達成された施策の割合を見る指標です。成果指標の目標達成割合から算出します。

計画的・効率的な行財政運営の満足度

基準年度現状値	平成24年度目標値
50.0%	↗

市民の行財政運営に対する満足度を見る指標です。市民アンケートで、市の計画的・効率的な行財政運営について「満足」「どちらかといえば満足」「ふつう」と回答した市民の割合です。

施策 6 - ④

公正確実な事務の執行

施策のねらい

職員誰もが、公正で確実な行政サービスを提供できます。

施策の成果指標

公正確実な事務の執行の満足度

基準年度現状値	平成24年度目標値
58.6%	→

市民の公正確実な事務の執行に対する満足度を見る指標です。市民アンケートで、公正確実な事務の執行について「満足」「どちらかといえば満足」「ふつう」と回答した市民の割合です。

山武市総合計画の全文は、

市役所企画政策課、市内図書館
あるいは市公式ホームページ

<http://www.city.sammu.lg.jp>

でご覧いただけます。



山武市総合計画

平成20年度（2008年度）～平成29年度（2017年度）

発行 / 山武市 編集 / 総務部企画政策課
〒289-1392 千葉県山武市殿台296番地
TEL : 0475-80-1132